

シグマ研究委員会，核データ評価W. G. 中重核  
データ S. W. G. 1984 年度第 1 回会合

日 時 1984 年 6 月 18 日 (月) 13 : 30 ~ 17 : 30  
場 所 原研本部第 5 会議室  
出席者 浅見哲夫，杉暉夫，菊池康之 (原研)，八谷雅典 (三井造船)  
山越寿夫 (船研)，飯島俊吾 (NAIG)

配布資料 HM-84-1 : シグマ委員会 GNASH 改善 ad hoc 委第 1 回会合議事録  
HM-84-2 : GNASH input description  
HM-84-3 : List of Alloted Task for JENDL-3  
Data Evaluation

議 事

1. JENDL-3 PR 1 の報告
  - 先に配布された JAERI-memo 59-049 に基いて，FeCrNi の評価について報告討議が行われた。
  - さらに JENDL-3 で検討すべき点として
    - 1) Optical Potential Parameters
    - 2) GNASH の parameters
    - 3) Inel の角度分布
    - 4) (n, p) (n, 2n) etc の normalization
2. GNASH の改良計画
  - Young から送られて来た new version について資料 HM-84-1, 84-2 により浅見氏から説明があった。
  - 今後の必要な作業は
    - 1)  $\gamma$ -ray profile function, level density parameter 等を CASTHY と等価にする。
    - 2) GNASH 用の jobsetter を開発する。
    - 3) レベル・スキームとレベル密度を data pool 化する。ENSDF からとれるか検討中。
  - 今後の作業はガス生成 S. W. G. と合同会合にする。

### 3. JENDL-3 の評価

- HM-84-3 により分担および委託との関係の説明があった。
- 実験値との比較プロットは大体完成したので近日中に評価者にコピーを送る。
- 但 inel の図は機械的にはいかない。
- 次回このプロットにより status review を行う。

### 次回会合

1984. 7. 12 (木) 10 : 00 ~ 13 : 00

拡大会合 (評価担当者全員) による status review